

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展 科目コード：130047 コミュニティ政策論 Community Programs and Social Services					
担当教員	塚田 久恵				
実務経験	地方自治体等勤務経験ある教員が担当している。				
開講年次	4年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	公衆衛生、看護管理、組織運営、人事管理、人材育成、予算管理、情報管理、健康危機管理、法令				
学習目的・目標	【目的】 公衆衛生看護活動を展開していく上で、公衆衛生看護活動業務の企画立案、進行管理、予算管理、情報管理、事業評価、能力開発など様々な管理的機能や行政能力が求められる。ここでは、主に、組織運営と管理、人事管理と人材育成、予算管理、情報管理、健康危機管理について学習する。 【目標】 1．地域看護管理の目的及びその機能を理解する。 2．地方公共団体の組織的事業運営について学び、他機関・団体との共同の必要性を理解する。 3．住民の権利保障と健康危機管理・リスクマネジメントの必要性を理解する。 4．情報公開と個人情報保護について学び、情報を扱う保健師の責任と義務について理解する。 5．施策・事業の円滑に運営するために必要な予算管理・人事管理などの業務管理の必要性を理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	公衆衛生看護管理の目的と機能				
2	公衆衛生看護における情報管理（情報公開と個人情報）				
3	組織運営と管理、人事管理・人事評価（人材育成）				
4	保健事業と予算編成及び管理				
5	健康危機管理と保健師の役割				
6	公衆衛生看護活動に関する法令（１）				
7	公衆衛生看護活動に関する法令（２）				
8	まとめ				
教科書	標 美奈子著者代表：標準保健師講座Ⅰ 公衆衛生看護学概論 医学書院。 医療情報科学研究所（編集）：公衆衛生がみえる MEDIC MEDIA.（最新版）				
参考図書等	国民衛生の動向 厚生統計協会。				
評価指標	学習課題100% （ただし、出席および参加状況が2 / 3 以上であることが原則）				
関連科目	公衆衛生学、疫学、法と社会、保健医療福祉論、地域看護学概論、公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護方法論Ⅱ・Ⅲ演習、公衆衛生看護学実習				
教員から学生へのメッセージ	公衆衛生看護活動を適切に実施するためには、様々な管理機能が必要になります。ここでは、地域看護学概論、公衆衛生看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでの学びを基本にその管理機能について学びます。保健活動の基本的な方法論を理解し、活動の方向性と実践の手がかりを学び取ってほしい。				